SNARK®

SN-1
(Guitar)

SN-2
(All Instrument)

TUNER INSTRUCTIONS

取扱説明書・保証書

チューナー機能について

SNARK

SNARKクリップチューナーをお買上げ頂き誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書に記載されている機能、操作手順、注意点をよくお読みの上、正しくご使用頂けます様にお願い致します。

それでは、最初にSN-1とSN-2のチューナー機能についてご説明致します。

SN-1はギター＆ベースにマッチした周波数に設定しており、SN-2はさらに広範囲な周波数を感知できるように設定されています。そのため、SN-2はギターだけでは無く幅広い楽器全般のチューナーとして使用が可能です。

どちらもクリップスタイルのチューナーで取り付けた楽器の振動を感知しチューニングを行いますが、SN-2にはマイクセンサーも内蔵されており、管楽器などの振動では感知しにくい楽器にはMIC/VIBの切り替えスイッチでマイク(MIC)側を選択することで楽器からの実音を感知しチューニングすることができます。

楽器への取り付け

SNARKクリップチューナーは、楽器へ本体のクリップで挟んで取り付けます。取り付ける際には楽器に傷などが付かないように注意して下さい。

また、SNARKのクリップ部は傷などが付きにくいように楽器と触れる内側部分にラバー(ゴム)パッドを使用しています。取り付ける楽器の塗装や仕上げ方法により塗装焼けや割れ、くすみといった問題が発生する可能性がありますのでご注意下さい。

①ギターへの取り付け
ギターのヘッド先端部をクリップで挟んで取り付けます。ヘッドの表側、裏側でチューナー・ディスプレイが見やすい方にセットして下さい。

②その他楽器への取り付け
楽器の振動を感知しやすい部分にクリップで挟んで取り付けます。
SN-2ではMIC/VIBの切り替えスイッチでマイク(MIC)側を選択することで、振動ではチューニングしづらい楽器からの実音を感知しチューニングすることができます。そのため譜面立て等にクリップで取り付けてチューニングすることも可能です。

SNARKクリップチューナーは楽器に取り付けた後、チューナー・ディスプレイ本体とクリップ部及び接合しているアームが固定されていませんので角度が自由に変えられます。またチューナー・ディスプレイ本体部分も360度回転させることが可能ですので、見やすい位置にセットすることができます。ただし、力ずくで無理に動かしたり、動かす際に落としたりすると本体が破損してしまいます。また楽器にも傷を付けたりする可能性がありますので注意して操作して下さい。

作動方法及びピッチキャリブレーション

SNARKクリップチューナーを楽器に取り付けたら、チューナー・ディスプレイ本体のパワー・スイッチを押すことでチューナーが作動します。

SN-2ではMIC/VIBの切り替えスイッチでマイク(MIC)、振動(VIB)のどちらかを選択することで、チューナーのセンサーを切り替えることができます。SNARKクリップチューナーはA=440Hzに基準設定されていますが、ピッチキャリブレーション・スイッチを押し、ピッチダウン＆♭・スイッチとピッチアップ・スイッチを押し操作することで、A=415～466Hzの間で基準ピッチを変えることが可能です。基準ピッチを変えた後、A=440Hzに戻したい時はパワー・スイッチを押すと元に戻ります。尚、パワー・スイッチを操作した時点で基準のA=440Hzに戻りますので、基準ピッチを変更したい場合はその都度設定を行って下さい。

チューニング方法

SNARKクリップチューナーの取り付け、ピッチの設定が終わりましたら、チューニングしたいギターの弦やその他の楽器を弾くとチューナー・ディスプレイにその時の音名と高低が表示されます。例としてギターの5弦をチューニングしたい場合、音名をAと表示されるようにギターのチューニングマシンを調節してゆき、チューナー・ディスプレイの表示が赤の表示の範囲では♭、黄色の範囲では♯を示していますので、チューナーディスプレイの表示がセンターの位置(時計の12時の位置)に止まるように微調整を行って下さい。

他の弦も同じ要領で繰り返しチューニングを行います。尚、SNARKクリップチューナーはクロマチックチューナーですので、ギターの変則チューニングやギターに関わらずさまざまな楽器のチューニングが行えます。

トランスポーズ機能

ギターにカポを使用するプレイヤーは便利な機能です。通常、ギターの1フレットの位置へカポを装着しチューニングをおこなう場合、開放弦の状態から半音上がったチューナー表示でチューニングする必要がありました。
(例：開放=E/1フレットへカポ=F)。

SNARKではピッチダウン＆♭・スイッチを押すことにより、トランスポーズ機能が作動し1フレットへカポを装着した場合でも開放と同じEの表示でチューニングすることが可能です。このトランスポーズ機能はピッチダウン＆♭・スイッチを1回押すごとに半音ずつチューナー・ディスプレイの音名表示が実音より下がった表示となり、4回まで押して同様の操作、設定が可能です。(例：開放=E/4フレットへカポを装着してもチューナー表示はEのままでチューニングが可能)。

トランスポーズ機能を作動させた時、ピッチダウン＆♭・スイッチを1回から4回まで押すごとに、チューナー・ディスプレイに♭マークが1個から4個まで表示され機能の状態が分かるようになっています。

機能を解除したい時はピッチダウン＆♭・スイッチを続けて5回押しチューナー・ディスプレイに♭マークが出ない状態にするか、パワー・スイッチで電源をOFFにすると解除できます。
※トランスポーズ機能を使用している時にはピッチキャリブレーションはキャンセルされます。よって基準音はA=440Hzのみになります。

タップテンポ/メトロノーム機能 （発音しません）

SNARKクリップチューナーには簡易メトロノーム機能が搭載されています。

パワー・スイッチで電源をONにしTAP/METスイッチを押せばチューナー機能からメトロノーム機能に移行します。この時、チューナー・ディスプレイにテンポ表示と共にハートマークが点滅し簡易メトロノームになります。

テンポを変えるにはピッチダウン＆♭・スイッチとピッチアップ・スイッチを押すことで遅く、早くが調節できます。

またTAP/METスイッチをお好みの速さで複数回押すことでテンポを変えることができます。この機能を解除したい時はパワー・スイッチを押すことでチューナー機能へ戻ります。

パワーセーブ機能

電池の消耗を極力防ぐため、パワー・スイッチでONにしている場合でも10秒間無音の状態が続いた時、チューナー・ディスプレイの表示が暗くなります。この状態から音を感知した時点で通常の表示に戻ります。
また、2分間無音の状態が続いた場合は自動的に電源がOFFとなります。

バッテリー交換

SNARKクリップチューナーはボタン型電池のCR2032(3V)×1個で動作しています。

ディスプレイ表示が暗くなったままとなり見にくくなった時やチューナーが作動しなくなった時は新しい電池と交換して下さい。

交換する際は本体電池収納部を外側に引き出して頂き、電池の＋ーを間違えないように古い電池から新しい電池へ交換し、スライドさせる要領で電池収納部を本体へセットして下さい。この時、無理に電池収納部を引き出したり、セットしたりすると内部の回路が破損してしまう場合があります。注意し交換を行って下さい。

ご注意

楽器を収納する際には必ずSNARKクリップチューナーを取り外して下さい。
付けたまま長時間経過すると楽器の塗装や仕上げに悪い影響(塗装焼けや割れ、仕上げの曇り、くすみ等)が出る可能性があります。
短時間の装着でも、塗装の経年変化、状態等により悪影響が出る可能性があります。

SNARK日本輸入代理店
キクタニミュージック株式会社
〒488-0054 愛知県尾張旭市稲葉町2-120-1
TEL (0561) 53-3007 (代)